

## 第2学年4組 道徳学習指導案

平成23年10月18日（火） 第5校時

指導者 教諭

- 1 主題名 勤労、社会への奉仕、公共の福祉 4－（5）  
資料名 「ぼくの職場体験活動」（出展 彩の国の道徳 平成22年2月）

### 2 主題設定の理由

#### （1）ねらいとする価値について

内容項目4－（5）は「働くことの意義を自覚し、進んで世のため人のために尽くし、公共の福祉に貢献しようとする心情を育てる。」ことをねらいとしている。働くことは私たちが生きていくうえで重要な位置を占めている。そこにはただお金を稼ぐというだけではなくそれ以上の価値を見出すことができるからである。また、一日のなかで多くの時間とコミュニケーションを費やす時間でもある。職場の人間とのコミュニケーション、お客とのコミュニケーションなど人との交わりの中で人として学ぶことは多い。人とのコミュニケーションの充実は心の充実につながり、人生を豊かにすることに繋がっていく。私たちは今その部分に重きを置くことの重要性を認識しなければならない。確かにお金は重要である。なぜならお金でしか手に入れない物が世の中に溢れているからだ。そして、そのことで得られる幸せもある。お金を得ることに罪悪感を覚える必要はまったくない。しかし、どんな職種においても、「人の為」にを第一に置かない者はうまくいくことはない。このことからすると、仕事とは人なのだと考えさせられる。

職場体験は生徒達にとって社会に触れることのできる貴重な体験である。世の中には色々な職種があり、色々な人達が働いている。まったく新しい体験や職場の人達のふれあいから仕事のたいへんさ楽しさ喜びを感じてもらいたい。今回の授業は体験より前に行われるが、少しでも職場体験の雰囲気を感じてもらい、実際の職場体験に生かされたらいいと思っている。机上の空論ではなく肌で感じることのできる体験のほうがより深く心に刻まれるが、心の準備として地域の人や関わる人を大切に思う心情を理解してもらえたらと思う。（人から与えられる）子どもという立場からほんの少し大人になって人に与えることの喜びを知る人間になってほしいと考えている。

#### （2）生徒の実態について

（※生徒の実態は、HP上では消してあります。）

### (3) 資料の活用について

本資料は、職場体験学習で行きたくない職場に決まった主人公が、職場体験をして成長する話である。仲間と共に職場で活動をしたが、自分だけ大変な仕事になりいやいやながら仕事をしてきた。しかし、一日が終わった後に全員が集められ、その場で主人公の働きが褒められた。仕事をするとはどういうことか店の主人の話を聞き仕事について考えが変わり、明日からもっとがんばろうと決意する話である。

本資料では、仕事をするとはどういうことか。奉仕の精神を持って自ら進んで、それを実践しようという態度を培うとともに、社会への奉仕に伴う喜びが自らの充実感として生徒一人一人に体得され、心から満足でき、生きがいのある人生を実現しようとする意欲にまで高めることを目標に授業を展開していきたい。

指導の観点としては次の4つの場面を中心に話し合いを深めていく。

- ① イヤイヤながら一人で仕事をやっていた場面
- ② 店長から「君のおかげでお客さんが気持ちよく店に入って来られたんだ」と言われた場面
- ③ 店長から「この店は、私の生きがいだ」という話を聞く場面
- ④ 帰り道に、空き缶のことを思い出しながら、自転車をこぐ場面

①の場面では、自分の希望通りの仕事に就くことができず、しかもやりたくない店の外での清掃だったため、働くことに対して嫌気がさしている主人公の心の内を生徒に共感させたい。また、「不意に」という言葉を通して、渋々ながら主人公なりに一生懸命に清掃に取り組んでいた点を押さえておきたい。

②の場面では、自分の仕事ぶりを評価してくれた人がいる喜びとともに、渋々やっていたのに褒められていいのかという複雑な思い（葛藤）もあることをとらえさせたい。また人から褒められたいから一生懸命働いているという考えに留まっている点を押さえたい。

③の場面では、先ほどまでの自分の体験と店長の話を通して、人の役に立ち、人に喜んでいただけるように働くことが自分の喜びや生きがいにつながることをじっくり考えさせたい。また自分のことだけ考えて働いていた主人公と店長の思いや考えとの違いを明確にさせたい。

④の場面では、空き缶を転がしてしまった未熟な自分を反省するとともに、働く目的が見つかり生き生きとしている主人公の気持ちを捉えさせる。

### 3 ねらい

まわりの人の喜びのために働くことの尊さと、それが自分の喜びになることを理解し、自ら進んで生きがいのある人生を表現しようとする態度を養う。

### 4、他の教育活動等との関連学習指導過程

事前指導	・人はなぜ学ぶのだろう人はなぜ働くのだろうかについての授業。アンケート ・明日をひらく「奇跡の一週間」の授業
道徳の時間	・資料名「ぼくの職場体験活動」まわりの人の為に働くことの尊さと、それが自分の喜びになることを理解し、自ら進んで生きがいのある人生を実現しようとする態度を養う。
事後指導	・職場体験の心得を指導。（受け入れてくださる職場の方への感謝の気持ち） ・職場体験お礼の手紙
職場体験の まとめ	・職場体験で学んだことの掲示物制作、掲示。

5 学習指導過程

段階	学習活動・主な質問	予想される生徒の反応	指導上の留意点☆評価の観点
導入	あなたは運が良いほうですか。悪いほうですか？		<ul style="list-style-type: none"> <li>結果から、授業への関心を高めると同時に、今日の授業の内容に興味を持たせる。</li> </ul>
	○良いと思う人悪いと思う人の人数を確認。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身はどうか考えて挙手をする。</li> </ul>	
展開	2 資料の登場人物、条件、状況を確認。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の条件・状況を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>条件、状況を説明し、主人公になったつもりで考えられるようにする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>主人公「和人」は職場体験活動で働くことに乗り気でなく、楽だと噂されている職場を希望する。</li> <li>しかし、第2希望に外れ、高明や陽二から責められる。</li> <li>学校近くの商店で体験活動を行うことになったが、やる気になれなかった。</li> </ul>		
	3 資料1の範読を聞き話題を元に話しあう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>範読を聞く。</li> <li>場面絵を見ながら、話の内容を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主人公和人の心の動きに注目させて、範読する。</li> <li>場面絵を貼りながら、話題とする場面をおさえる。</li> </ul>
	<p>① 一人で店の外を掃除しながら、和人はどんなことを考えていただろうか。</p> <p>② 店長から「君のおかげで、お客さんが気持ちよくこの店に入ってきたんだ」とほめられて和人はどんなことを考えただろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>嫌だな。なんで、ぼくだけこんなたいへんな仕事をしなくちゃいけないんだろうか</li> <li>二人は、楽しそうに仕事をしていたいいな。</li> <li>ぼくのことを見てくれていた人もいたんだな。褒めてもらえてうれしいな。</li> <li>褒められるなら、もったきちんとやっておけばよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和人になりきって、嫌々仕事をしている気持ちを考えさせる。</li> <li>☆主人公、和人の気持ちに共感しているか。(発言・態度)</li> <li>場面絵を貼りながら、話題とする場面をおさえる。</li> <li>思いがけず褒められてとまどいながらも、うれしい気持ちになった主人公の気持ちに共感させる。</li> <li>人に褒められたいから一生懸命に働くという考えに留まっている点を押さえる。</li> </ul>
1、店長はなぜ、和人だけ褒めたのでしょうか？			<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント記入</li> <li>☆主人公の心の変容を捉えることができたか。(発言・態度)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>話題を元に話しあう。</li> <li>資料2の範読を聞き、話題の整理と確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人のいやがる仕事をしたから</li> <li>お客さんが喜んだから。</li> <li>他の二人の仕事ぶりは当たり前だから。</li> <li>範読を聞く。</li> <li>店長さんは単にお金を儲けるためだけではなく、地域のお年寄りのことを考えて仕事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人の役に立ち、人に喜んでいただけるように働くことが、自分の喜びや生きがい</li> </ul>	
③ 店長の「この店は、私			

展	<p>の生きがいだ」「私は地域の一員として、できることがあれば歩いていきたいんだよ」という話を聞いて和人はどんなことにきづいたのだろうか。</p>	<p>をしているんだな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りなど、人の役立つことが店長さんの喜びなんだ。</li> <li>・認めて褒めてもらうという自己満足ではなく、お客さんに喜んでもらうことが大切なんだな。</li> </ul>	<p>につながることをじっくり考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことだけを考えて働いていた和人と店長の思いや考えとの違いを明確にさせる。</li> </ul> <p>☆主人公の心の変容を捉えることができたか。</p> <p>(発言・態度)</p>
開	<p>2 主人公の気持ちになってどんな気持ちで自転車を漕いでいたかプリントに書きなさい。</p> <p>④ 帰り道に、自転車を漕ぎながらどんなことを考えていたのだろうか。</p>	<p>2 主人公の気持ちになってどんな気持ちで自転車を漕いでいたかプリントに書きなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静かにプリント記入</li> <li>・明日は、お客さんの喜ぶ顔が見られるようにがんばるぞ。</li> <li>・明日の仕事は、楽しくなりそうだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き缶を転がしてしまった未熟な私自分を反省するとともに、働く目的が見つかり、生き生きとしている和人の気持ちを捉える。</li> <li>・プリント記入</li> </ul> <p>☆人の喜びのために働くことの尊さと、それが自分の喜びになることを考えることができたか</p>
終末	<p>5 松下幸之助の出した人生の結果式を提示</p> <p>・ 人生の結果 = 考え方 × 熱意 × 能力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売るといふより、その真価を知って使ってもらおう。</li> <li>・ 死ぬ瞬間までは永遠に生きるようなつもりでベストをつくす。</li> <li>・ ついてると答えた人は感謝の心を知っている人、ついていないと答えた人は何事も人のせいにする人が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熱意を持って仕事に取り組みお客さんに喜んでもらうことを第一に考えることが大切。</li> <li>・ 「奇跡の一週間」の北村さんのように生きよう。</li> <li>・ 自分はどちらと答えるだろう</li> <li>・ 感謝の気持ちを大切にしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松下幸之助について軽く説明する。</li> <li>松下電器の創業者 現在のパナソニック 経営者として一流</li> <li>・ 質問の答えは求めず、余韻をもって終わらせる。</li> </ul>

## 6 評価

### ○生徒からの観点

- ・ 友達の意見を聞き、自分の考えを発表することができたか。
- ・ 働くということの本質を考えることができたか。
- ・ まわりの人の喜びのために働くことの尊さと、それが自分の喜びになることを理解することができたか。

- ・これからの自分は、どのような生き方をしていたらよいのか考えることができたか。

○教師からの観点

- ・資料の内容、展開時の構成は、生徒の実態にあっていたか。
- ・教師からの一方通行にならず、生徒の発表を生かして話し合いが進められたか。
- ・本時のねらいである仕事をする事の本質と素晴らしさを実感させる授業となったか。
- ・これからの自分の生き方を考えるための手立ては有効だったか。

7 板書計画

